



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 3 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 5 6 回例会

平成 2 5 年 1 月 3 0 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：それでこそロータリー
3. ゲスト：高橋靖夫先生(井波中学校進路指導主事)
4. 会長の時間：本日は議員さんが公務で出席が少ない。

「卓話」という言葉は、ロータリー用語で一般にはなじみが薄い。卓話とは、テーブルスピーチ、しかし 30 分は長い、ミニ講演といったところか。かつて香林坊 RC にメイクに行った時、入会 1 年以上経った会員が初めて卓話時間(2 人で 30 分のため、1 人 15 分)をもらい、自己紹介などをしてもらった。会員数が 100 人にもなるとさもありなん。会員増強で気づいていたところ、ようやく 1 名の入会希望者があり、ほっとしている。

今月のガバナー月信に富山シティー RC のワイン同好会が紹介されている。他クラブの会員にも参加を呼び掛けている。クラブ横断的にすることも、新しいロータリアンの友人を増やしたりするには、いい事で、ロータリーを楽しめたり、新しい会員の入会につながると思う。

5. 幹事報告：①2 月のロータリーレートは 1 \$ = 88 円。
②本日例会後、理事会。③メイクアップ希望者は、他クラブ例会変更を事務局に確認を。④2 月 2 4 日 IM について、直前の 20 日の例会を、会場となるトナミ

ロイヤルホテルに変更したい。異論がなければ、20 日お昼に。(決定) ⑤残念なお知らせです。長谷川総一郎会員から、26 日付で退会届が出されました。(回覧)本日の理事会で、対応を協議します。⑥もう一つは、得永忠雄氏から、入会届が出されました。(紹介者：河合会長、山本会員) 理事会にかけます。

6. 委員会報告：①出席委員会：本日 20 名中 14 名出席 (70.00%)
7. ニコニコBOX(SAA：本日 6 名 4000 円、その他、米山 1 名、財団 1 名。1 月度計 44000 円。年度累計 336000 円)

河合会長：正月がずーっと昔に終わった気がします。

正月は何していたのだろうという思いもあります。

小西ガバナー補佐：IM の案内と出席お願いのための第 3 分区各クラブ訪問全て終了しました。ちょっといいニュースで、中尾ガバナーが当日、出席されることになったという知らせが、宮本筆頭副幹事より入りました。

山本会員：井波中学校の高橋先生、ようこそ。卓話をよろしくお願いします。先日の得永忠雄君が入会を決意してくれました。大変嬉しく思います。

三谷会員：卓話当番で井波中の高橋先生にお願いしました。宜しくお願いします。

三角会員：会合のため、早退します。

中島会員：職場のノロウィルス感染、ようやく終わり
一安心です。高橋先生、卓話よろしくお願
いします。



卓話「井波中学校におけるキャリア教育について」

高橋靖夫先生(井波中進路指導主事)

三谷会員(紹介者)：職業奉仕委員長として、ロータリーと
しても職場体験などの場の提供や紹介の事業をおこなっ
ているが、井波中学校の南砺市井波地区市民向けの「百合
樹」という学校だよりが目にとまった。そこに「キャリア
教育をご存知ですか」という高橋先生の記事があり、本日
卓話をお願いしました。ロータリーとしても、何かお役に
たてる事があればと思います。

高橋先生：(中学生の14歳に挑戦をしている写真や木遣り踊りなどの活動をしている写真などのスライドを見ながらの講演でした：お話の内容は、資料に集約されております。以下に、『百合樹』の高橋先生の原稿を記載し、卓話内容に代えさせていただきます。)

~~~~~

学校だより『百合樹』第90号・平成24年10月25日

「時の声」

**「キャリア教育」をご存知ですか**

**進路指導主事 高橋 靖夫**

中学校では全教育活動を通して「キャリア教育」を行っています。

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。

では、「キャリア」とは何でしょう。人は自分の役割を果たして活動すること、つまり、「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。このように、人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、「働くこと」

の価値や自分と職業との関係を見出していくことが、「キャリア」です。また、社会の中で自分の仕事を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」とも言います。

次にキャリア教育を実践する事でどのような事が期待できるでしょうか。子どもたちは「働くこと」と「学ぶこと」の密接な関係に気づくことで、学習意欲を向上させることができると思われます。家庭においては家族がそれぞれ果たしている役割について子どもたちの意識が高まることにより、家族間の共通の話題が増え、相互理解が深まるものと思われます。地域においては、地域で子どもたちを育てていこうとする気持ちが高まることにより、地域の人々や事業所との交流も活発になり、地域の活性化につながると思われます。

井波中学校では、1学年は「夢をもとう!」2学年は「夢をふくらませよう!」3学年は「夢の実現に向けて歩み出そう!」というテーマで、発達段階に応じた学年別の重点目標と内容を設定して、「キャリア教育」を実施しています。また、「ふるさと学習」として、「プロに学ぶ」や「木遣り踊り」など、地域の方々とふれあう体験活動も計画し、行っています。

地域の皆様には、これまで子どもたちを見守っていただいておりますが、これからも「キャリア教育」として、声かけをお願いしたいと思います。また、ご家庭におかれましても「働くこと」や「職業」など、話題にしていだければ幸いです。

~~~~~

高橋先生から、提供頂いた資料

- ① 井波中学校におけるキャリア教育(レジュメ)
- ② 社会に学ぶ「14歳の挑戦」(県教委)
- ③ 「キャリア教育を創る」(文科省 国立教育政策研究所)

